

市教委，金品等問題関係者に大甘処分！

今回の処分者はわずか20名。右記Aは裏金280万円受領も減給10分1が1ヶ月の大甘処分！O以下戒告5名は給料に大きな変化のない大甘処分！また実質注意のみの大甘処分である，文書・口頭訓戒を受けた者は，教育長はじめ校長，職員14名のみ！

懲戒処分職員	処分事由			量定
局長級A(62)	活	金	内	減給
部長級O(58)	動	品	覧	
部長級M(59)	費	名	出	戒告
課長級Y(55)	受	簿	席	
校長H(60)	領	受		
職員F(60)	領	領		

退職者は処分できないとしても，推薦名簿を渡した側の教育団体関係者には何のお咎めもなしでよいのか！

処分根拠 内覧(地公法，守秘義務違反)
金品名簿受領(職員倫理条例，報告義務違反)

実質免罪 学閥温存 抑止力なし 裏金隠ぺい

今回のような悪質かつ社会に対する影響が大きい問題でも，現行の処分規程に則ると大変軽い処分量定になります。規程を見直し，関係者に免職や停職も科せられるようにしなければなりません。

わたしたちは，学閥を背景にしたこの問題の全容解明と，関係者全員への厳正な処分を求めてきました(裏面)。金品・「アングラ」推薦名簿授受に関わったものは，過去も含め数百人に及びます。しかし今回「学閥の中枢」に対してわずかな人数への大甘処分で，学閥の影響力は温存され，再発への抑止力も働かず，旧態依然としたままになりそうです。(管理職任用制度の改定については別途論評)

愛知県教職員労働組合協議会
名古屋市教職員労働組合 ☎242-4474

がっこうコミュニティユニオン・あいち
がっこうコミュニティユニオン・なごや

8月28日に調査検証チームから金品等授受問題について、最終報告書が出されました。

その中で金品の授受は、一般的社会通念に照らし合わせて言語道断と断じられました。金品の授受によって昇任に特別な配慮が起きる可能性が想定されうるからです。

教職員課自らが「アンダーグラウンド」と評し本来あってはならないものと自らが認識していた推薦名簿については、教職員課の人事権への介入であり人事事務に当たって担当が参考にすること自体が大問題と評価されました。

また内覧に関しては、公務員としての守秘義務違反であり、教員委員会制度の趣旨に悖る、出席退職者に「教員人事を総覧する大物OB」という虚構を与えた、教育委員会制度に対する奢りを生み極めて不適切、と数々の問題が厳しく指摘されました。

これらはすべて本来あってはならないだけでなく、極めて悪質であり、市教委においては任命権者として、すべての関係者へ厳正な処分を科さなければなりません。今後早期に市教委が正常化するためにも、わたしたち愛教労、名教労、アスク、ナスクは10月11日付けで右記4点を強く要望していました。

金品問題関係者への厳正な処分を求める

- 1, 市教委は金品・推薦名簿を授受に関わった、2023年度市教委教職員課長ならびに過去の同役職経験者、2023年度首席管理主事、主任管理主事はじめすべての教職員課管理主事ならびに過去の同役職経験者、2023年度指導室長ならびに過去の同役職経験者、また現在・過去を問わず金品・推薦名簿を市教委に渡した校長会、同窓会等教育団体の代表者、さらに内覧出席者(以下「関係者」と言う)の氏名をすべて公表すること。教育団体においてはすべての団体名も公表し、関係者や団体の社会的評価が受けられるようにすること。
- 1, 市教委は、関係者で現在名古屋市職員である者を、名古屋市教委懲戒方針・基準に従って厳正に処分すること。処分は基準に依るも、事案の重大さや社会的影響の大きさに鑑み、再発の抑止力になり得、市民の納得が十分得られる程度の重さにすること。
- 1, 市教委は関係者を、今年度以降の市教委が関係する人事事務は一切関わらせないこと。
- 1, 市教委は関係者に会見をひらかせ、自らの言葉で知っているすべてのことを説明させること。

**市教委よ 正常化のチャンスを見逃すな！
わたしたちの声を聞き、関係者全員への厳正な処分を！
関係者の氏名、推薦名簿を渡した教育団体名の公表を！**